

作物のTSWV検査

〈対象作物〉

野菜類、花き類、タバコ

TSWV

- 病原** トマト黄化えそウイルス：
TSWV (*Tomato spotted wilt virus*)
- 感染** ウイルスを保毒したアザミウマ類の摂食や、感染親株からの挿し穂や接ぎ木などの栄養繁殖により伝染する。
- 症状** 葉に退緑斑点、えそ輪紋などを生じ、進行すると黄化・褐変、枯死する。
茎にえそ条斑を生じる。果実の奇形、えそ斑点などを生じる。
- 主な病害** ●黄化えそ病：トマト、ナス、ピーマン、花き
●えそ病：キク ●ウィルス病：キュウリ、トウガン 等



ミニトマト 葉のえそ斑点



アルストロメリア 葉の退緑斑

このような場合におすすめです！

- 作物に上記症状がみられる
- 圃場内や圃場周辺にアザミウマ類が発生している
- 普段発生したことのない症状の斑点や枯れがみられる
- キク親株で上記症状がみられる



ミニトマト果実 果実のえそ斑



アスター 葉の退緑 黄化褐変

検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

TSWV 感染検査のみ

- 地上部全体

症状がみられる植物体の地上部を袋に入れ密閉する。なお、地際の茎を切断する際は、清潔な刃物を使用し、切り口は十分湿らせたティッシュで包む。

TSWV 以外の病害も診断する場合

- 根を含む株全体

土壌が茎葉部に付着しないよう、根を湿らせた紙で包んでビニール袋に入れ、更に株全体をビニール袋に入れ密閉する。具体的な手順は、「病害虫診断 検体の送付方法」をご参照ください。



検査の方法

【イムノクロマト法】

イムノクロマト検査キットを使用して検査します。



注意事項

乾燥・枯死した検体は、検査できません。

報告書

- 病原ウイルスの感染を検査したうえで、最適な対応策をご提案します。
- 検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

